

科目名	輪講	英語科目名	Seminar
開講年度・学期	平成26年度・後期	対象学科・専攻・学年	機械工学科4年
授業形態	実験・実習	必修 or 選択	必修
単位数	1単位	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	各教員	居室(もしくは所属)	機械工学科棟3階
電話	内線210(山下)	E-mail	syama@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
高専での学習の集大成である卒業研究の準備として、少人数のグループに分かれ、各研究室で、研究論文の輪読、教材開発や実験装置の製作などを行う。その学習成果を発表し、質問された事項に正確に回答することができること。		②	B d-2, d-3 e, h
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. 成績評価は各指導教員が行う。 2. 成果発表の内容、および発表に対する質問への応答も評価に加える。			
評価方法			
1. 学習に取り組む姿勢、学習内容、発表の内容、成果報告書等によって総合的に評価する。 2. TOEIC スコア 300 点を単位認定の要件とする。			
授業内容			
各学生は、配属された研究室で、指導教員から与えられたテーマについて、自主的に学習を進める。 1月頃に輪講発表会を実施し、学習の成果を教員および学生の前で発表する。			
昨年度の輪講テーマの例			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文を日本語訳に直し自分の気になった文の発表と LEGO MINDSTORM を実際にプログラミングして動かした動画を発表 ・ Automotive Gasoline Direct-Injection Engines ・ 乗用鉄道車両の設計と製作 ~NE Trainに向けて~ ・ 独楽を用いたトライボロジー教材の製作 ・ 超音波による水素濃度の測定 ・ 電動ドライバによる締め付けトルクについて ・ 座位保持装置部品の工学試験について ・ 波による船の運動 ・ 赤外線カメラの特徴と反射率について ・ ジャンプロボットの設計・製作 ・ 模型自動車の登板実験 ・ き裂進展速度の測定 			
キーワード	各テーマによる		
教科書	各テーマによる		
参考書	各テーマによる		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	全科目		
現学年の関連科目	全科目		
次年度以降の関連科目	卒業研究		
連絡事項			
次年度の卒業研究に向けて、自主性・創造性・問題解決能力を育成し、研究に対する真摯な姿勢を学ぶことを期待する。また教員から一方的に何かを教えてもらうのではなく、自分から積極的に調査・研究して考える主体的な学習姿勢を求める。			
シラバス作成年月日	平成26年7月修正		